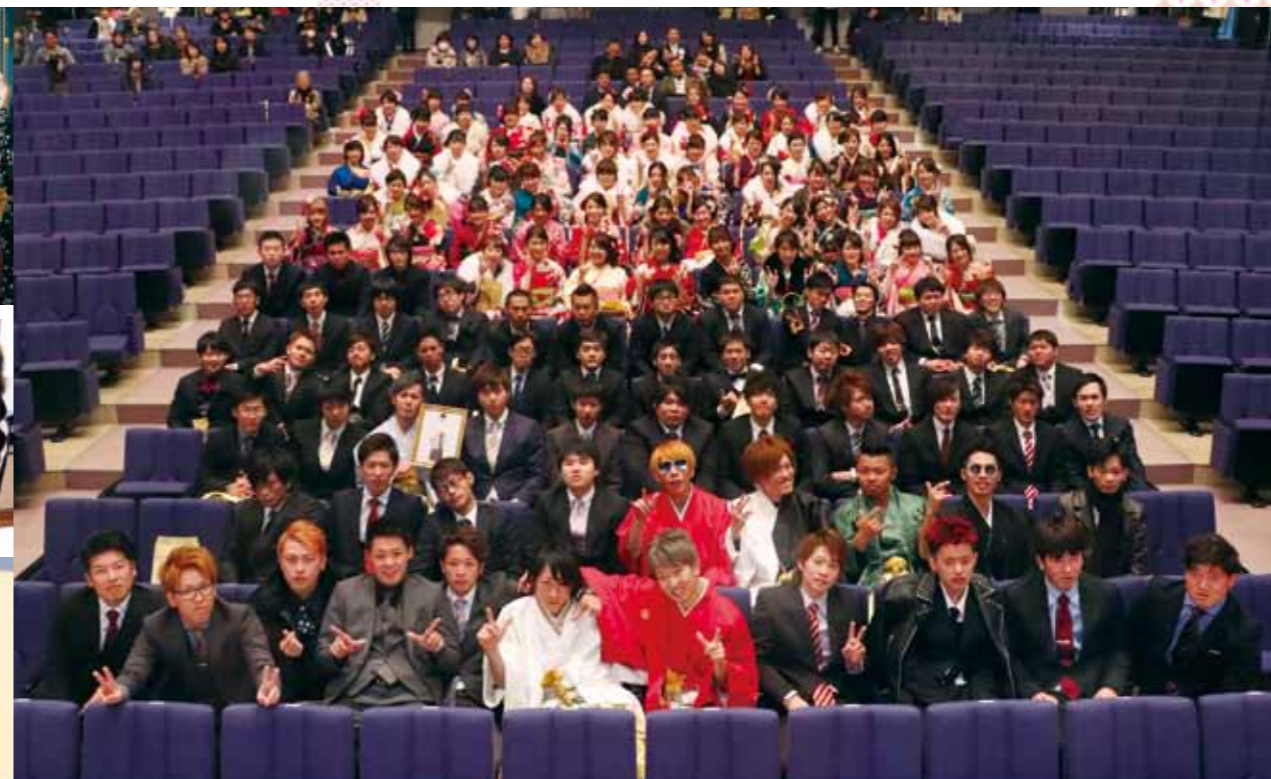


故郷で迎える新たな門出



今年も1月5日(木)に垂水市文化会館で成人式が開催されました。成人式は、大人の社会へ仲間入りすることを自覚し、祝い励ますことを目的としたものです。今回、成人を迎えたのは、平成8年4月2日から平成9年4月1日まで生まれた方で、174人が対象となり、128人が参加し、73・6%の参加率となりました。

当日は、はかまやスーツ、振袖姿の新成人が旧友や恩師と再会を喜び、記念撮影や昔を振り返ってお互いを称え合う姿が多く見られました。式典では、尾脇市長をはじめとする、多くの来賓から祝福と激励の言葉が贈られ、その言葉を真摯に受け止めている様子でした。

故郷で迎えた新たな門出。これから大人の社会に向かって歩んで行く新成人の皆さんのご活躍をお祈り申し上げます。



①-⑤⑦新成人でにぎわう受付ロビー
⑥新成人の心境をFMたるみずがインタビュー⑧新成人を祝うお茶会⑨オープニングは新原悠介さんと若松慶太郎さんの演奏⑩司会は川畑瑠花さん⑪祝電披露は瀬脇琢磨さんと中村真子さん⑫国家斉唱は石躍ゆいさんによるピアノ伴奏⑬尾脇市長祝辞⑭クラスごとの記念撮影会(写真は後日配布されます)



はたちの主張

中馬 黎菜さん

成人式という節目に立ち、特に思うのが両親への感謝です。高校進学も部活動も何不自由なく過ごせていたのは両親のおかげなのだと思ってきました。成人式を迎え「大人」と言われる立場になります。大人とは自分自身に責任が問われることだと思っています。この年を境に両親や周りの方々への感謝を忘れず「社会の一員」という自覚を持っていきたいです。

池之上 航さん

置かれた状況の違いがある私たちですが、垂水中央中学校で学び過ごしたことに誇りを持ち社会人1年生として歩みを進めていきたいと思っています。また現在、日本の社会は様々な問題を抱えています。私たち新成人はその状況をよりよく変えていく力があると思います。そのためにも、責任ある行動を取り日々の努力を大切に社会人生活を全うしていく所存です。

石躍 ゆいさん

私が一番最初に感謝を伝える相手として思い浮かべたのは家族でした。そして、一番感謝するのは、今までもこれからも母でしょう。一人暮らしをして家族の楽しさや温かさ、感謝の気持ちを痛感しました。私は大好きな家族に育ててもらえ本当によかったです。大人になれたのも周りの方々のおかげです。皆さんもこの機会に感謝を言葉にしてください。

角野 健斗さん

両親をはじめ、出会った全ての人たちに支えられてばかりで、一人でも欠けていけば今の私は、いなかったと思います。感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。また、人生は一度きりです。過ぎ去った時間は二度と戻ってきません。新成人の皆さんには、あの時こうしておけばよかったと後悔しないようにこれからの物事に精一杯取り組んでもらいたいです。